

令和 7年 11月 7日(金) 甲奴中学校体育館 17名 (男子10名 女子 7名)

単元名

伝えよう！

～楽しく・思いっきり・みんなで表現～

1 授業づくりの考え方

単元の捉え方

表現運動は、自己の心身を解放して、リズムやイメージの世界に没入しながらなりきって踊ることが楽しい運動である。また、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動でもある。題材の特徴を捉えた多様な感じの表現と全身でリズムに乗って踊る学習を通して、即興的に表現する能力やリズムに乗って踊る能力、友達と豊かに関わり合うコミュニケーション能力などを培うことが大切である。

児童の実態

本学級の児童は、「体育の授業が好き」と全員が回答している。また、踊ることも全員が好きと答えている。休憩時間には、何かになりきって遊ぶことや体を動かしている児童もいる。体育の授業では、児童同士で動きを見て、その動きのよさを見つけることができている。しかし、自分と友達の動きの違いを受け入れることができない児童や、考えていることを表現できない児童も見られる。そのため、友達の考えや取組を認めたり真似をして動いたりすることや、自分の思ったこと・考えたことを体で表現する力を高める必要がある。

指導の工夫

①ゴール・問いのある授業づくり

- ・「ミニ発表会で先生たちに自分たちの演技を見てもらおう！」というファイナルタスクを児童とともに設定し、やってみたい・楽しそうという思いをもたせる。
- ・前時の様子分かる動画を見せることで、自分たちの実態を把握し、課題や問いをもたせるようにする。

②効果的な場やルール・教具等の工夫

- ・準備運動を子どもたちが好きなゲームキャラクターを活かしたカードを用いて、そのカードから連想する動きを行ったり、友達とまねっこ遊び、ジェスチャーゲーム等、楽しく取り組んだりできる準備運動を行う。
- ・即興的に動くヒントとして、授業で出てきた動きをいつでも見返すことができるように掲示を行う。
- ・子どもによってイメージすることが異なるため、マインドマップを使用し、動く前にイメージ共有を行いどんな動きができそうかを考える。
- ・友達同士で自分たちが伝えたいことが見ている人に伝わるかを確かめるために、見せ合う場面を設ける。その際に、よりよいアドバイスができるように「4つのくずし（空間・身体・リズム・人間関係）」を視点としてもたせる。

③認め高め合う集団づくり

- ・安心して表現するために、ルール作りを行い「楽しく、思いっきり、みんなで」という合言葉を大切にしていける。
- ・ペアやグループ活動を行うことで、友達同士で一緒に考えたり、自分が考えた動きを見せ合い認め合ったりする活動を取り入れる。
- ・毎時間の振り返りの場面で、友達のよいところに目を向けさせるために、「今日のチャレンジャー」として書き、紹介させる。

2 単元構想図（全7時間）

最適解・納得解が更新され続ける問い（本質的な問い）
イメージやリズムの世界に没入するには？

単元を貫く問い
どのように表現をしたら見ている人に表したいものが伝わるだろう？

単元の目標

知識及び技能	・表現の行い方を知るとともに、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで表現することができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	・自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	・表現に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 表現運動の行い方について発言したり、書いたりしている。 ② 題材の主な特徴を捉え表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。	① 題材の特徴や動きのポイントを知り、自分が表したいイメージに合う動きを選んだり組み合わせたりしている。 ② 特徴を捉えた動きや変化のある動きなど、自分の工夫したところや友達の動きのよかったところを伝えている。	① 表したい感じやイメージを表現する運動に進んで取り組もうとしている。 ② 互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ③ 誰とでも仲良く踊ろうとしている。 ④ 運動する場の安全を確かめている。



時数	本時のめあて	授業の概要	めざす児童イメージ	評価の重点（方法）		
				知・技	思・判・表	主体
1	どんな動きがあるかな？	学習の見通しをもつ。 みんなで様々な動きを体験してみる。	跳ぶ・回る（転がる）・ねじる・はう・走るなど様々な動きがあることに気づく。			④ （観察）
ファイナルタスク ミニ発表会で先生たちに自分たちの演技を見てもらおう！						
2	2人でどんな動きができるかな？	対応・対立の動きをつかませる。 「スポーツ」をテーマに即興的に動く。	対立・メリハリ・高低の差・速さの変化・誇張などの2人でできる動きを知り、楽しむことができる。	① （観察・カード）		
3	空間をうまく使うには？	空間の使い方を知る。 「学校」をテーマに即興的に動く。	身体の動きだけでなく、友達との立ち位置など空間を工夫したり、対応と対立や今まで学んだ動きを組み合わせたりして動ける。			③ （観察・カード）
4	動きをどのように組み合わせるかな？	3つ以上の動きを組み合わせ、曲に合わせて表現する。 「ゲームの世界」をテーマにひと流れの動きで表現する。	題材に合うイメージを共有し、どんな動きをするか組み合わせを考え、ひと流れの動きで表現することができる。	② （観察）		
5	どのように動けば見ている人に伝わるかな？【本時】	相手に何を表現しているか伝えるために「動きの貯金箱」を参考に工夫する。 「ゲームの世界」をテーマにひと流れの動きで表現する。	今まで習ったことをいかして、自分たちが相手に伝えるために工夫をしている。		① （観察・カード）	

6	選んだテーマをどのように表現するかな？	3つのテーマ(スポーツ・学校・ゲームの世界)から選び、動きを考える。見せ合う際は、4つの視点をもとにアドバイスをを行う。	友達の動きのよさや、自分たちの動きの工夫を伝えようとしている。		② (観察・カード)	
7	ミニ発表会で披露しよう！	3つのテーマ(スポーツ・学校・ゲームの世界)から選び、動きを考える。見せ合う際は、4つの視点をもとにアドバイスをを行う。	自分たちが相手に伝えるために工夫している。友達の動きのよさを見つけようとしている。			② (観察・カード)

※愛好的態度(主①)の評価は、単元後に行う。(カード)

3 本時の展開

(1) 本時の目標

題材の特徴や動きのポイントを知り、自分が表したいイメージに合う動きを選んだり、組み合わせたりすることができるようにする。

(2) 本時の評価規準

題材の特徴や動きのポイントを知り、自分が表したいイメージに合う動きを選んだり、組み合わせたりしている。(思考・判断・表現①)

(3) 準備物

・ホワイトボード8枚・マーカー8本・音楽・スピーカー・準備運動カード・タブレット・ワークシート

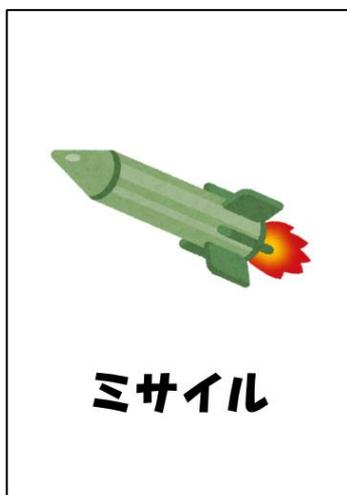
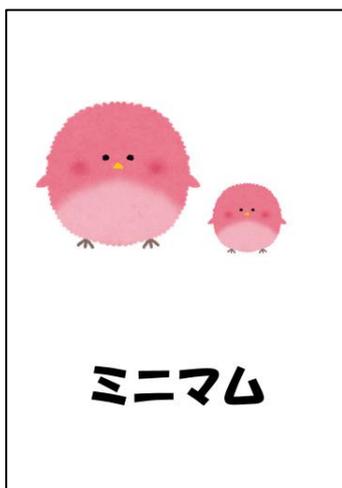
(4) 展開【第5時/7時間】

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への手立て	評価☆ [評価方法]
		は、児童の気づき	
ファイナルタスク			
ミニ発表会で先生たちに自分たちの演技を見てもらおう！			
導 入	(1) ウォーミングアップ ・準備運動①(教師まねっこ運動) ・準備運動②(表現カードあそび) (2) 前時の振り返りを行う。 ・前時の自分たちの動きを見て、どのようなよさや課題があるか確かめる。 ・ただ動くだけでなく、体を思いっきり動かしているところがいいね。 ・ずっと同じ動きが繰り返しになっているな。 ・何を表しているか分かりにくいな？	◇心と体をほぐす。 1曲教師の真似をしながらみんなで踊り、柔軟や跳ぶ、回る、ねじる、はうなど様々な体の動きを行う。 ◇本時の主運動につながる動きをカードに取り入れ展開につなげる。 ◆題材の特徴を捉えることが苦手な児童には、友達の真似をして一緒に動くことを促す。 ◇自分たちの動きの課題を見付けるために動画を見せ、何を表しているかクイズにする。	
	本時のめあて どのようにしたら見ている人に伝わるかな？		

展 開	<p>(3) ひと流れの動きにして踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゲームの世界」のテーマからグループでマインドマップを用いて、どんなものを表現するかを考える。 <p>例：「レースゲーム」→アイテムをゲットすると速く動いたり、相手を妨害（バナナの皮や、爆弾など）したりする。爆弾が爆発してくらった表現をするために飛び跳ねたり、バナナの皮でスリップしたことを表現するためにぐるぐる回ったりする。</p>	<p>◇2人組で、同じものを表すことができるようにイメージ共有をする。</p> <p>◇音楽は本時で初めて聞くものを準備する。</p> <p>◆表すものが思いつかないグループは、隣のグループのマインドマップを参考に促す。</p> <p>◆動きが思いつかない児童については、動きの貯金箱の中からイメージに合いそうな動きを3つ選ばせ、つなげられるようにする。</p>	<p>☆題材の特徴や動きのポイントを知り、自分が表したいイメージに合う動きを選んだり、組み合わせたりしている（思考・判断・表現①）【観察】</p>
	<p>期待する児童の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に攻撃されたときに、攻撃をよけたりくらったりする動きをしている。 ・同じ場所にとどまらず、空間を広く使っている。 		
	<p>(4) 隣のグループに見せ合い、よいところやアドバイスを伝える。</p>	<p>◇よりよい動きになるためのアドバイスをする際の視点として、「空間・体の動かし方・リズムの変化・友達との組み合わせ」を確認する。</p>	
	<p>・～さんが急に速く動いていたので、アイテムをゲットして速くなった様子が伝わった。</p> <p>・切られてやられる動きをオーバーにしている痛そうで面白かった。</p> <p>・もっとやられたところを表すためにオーバーに動いたらいいかも。</p>		
	<p>(5) アドバイスをもとにもう一度動きを考える。</p>	<p>◇タブレットを活用させることで、アドバイスを受けた部分を見返させたり、考えた振り付けを確認させたりする。</p>	
ま と め	<p>(6) 本時のまとめを行う。</p>		
	<p><u>本時のまとめ</u> 見ている人に伝えるために、体の動かし方や、空間、リズムの変化、友達とのやり取りなどを工夫する。</p>		
	<p>(7) 振り返りをする。</p>		
	<p>・ころころ転がったり、体をねじったりする動きができた。</p> <p>・友達の動きに合わせて動くことができた。</p> <p>・～さんの速くしたり、遅くしたりスピードを工夫しているところがよかった。</p>		

5 活用するワークシートや活動のルール等について

- 準備運動で使うカード



• 活用するワークシート

〈動きの貯金箱〉

<p>体</p> 	<p>リズム</p> 
<p>空間</p>	<p>友達</p> 